

年 組 名前：

マイナンバーカード「義務化」

河野太郎デジタル大臣は10月13日、現行の健康保険証を2024年秋に廃止してマイナンバーカードを代わりに使う「マイナ保険証」

に切り替えると発表しました。カードと運転免許証の一体化も24年度末としていた実施時期を早めることを検討します。保険証の廃止はカード取得の事実上の義務化と言えます。カードの普及に向けて、政府



健康保険証とマイナンバーカードを一体化させた「マイナ保険証」を利用するための読み取り機—東京都港区の虎の門病院（2021年10月）

は買い物などに使えるポイントをカード取得者に最大2万円分付与する「マイナポイント事業」などを行っています。カードの交付率は今年9月時点で人口の49%にとどまっています。23年3月末までにほぼ全ての国民に交付するというのが政府の目標。国民の間には個人情報情報が漏れることに対する心配の声が根強く、今回の発表に野党からは「取得の強制だ」として批判が出ています。

(2022年10月20日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと 10面)

問1

河野デジタル大臣は、2024年秋に何をすると発表しましたか。

.....

問2

今年の9月時点での、マイナンバーカードの普及率は、何パーセントですか。

..... パーセント

問3

今回の発表内容に、国民の間から、どのような心配の声が、あがっていますか。

.....

問4

あなたは、マイナンバーカードについて、どう考えますか。自由に書いてください。

.....

.....